

必見！ | 藤沢市の未来に向けた観光戦略が分かる♪

TAKE FREE

# 藤沢市観光振興計画

The Tourism Promotion Plan of Fujisawa City

2nd

FUJISAWA

概要版



訪れる観光客や住民も主人公！  
共創し選ばれ続ける観光都市へ

観光がもたらす経済効果とは？  
この1冊に詰まっています！

2024.4～

## 観光振興の目的及び計画改定の趣旨

観光振興は、交通産業や宿泊業、旅行業に加えて、市内に多い飲食業や小売業など幅広い業種の活性化につながります。これらの多様な業種が活性化することによる観光消費の拡大は、市内全体に高い経済効果をもたらします。また、観光振興は多くの雇用を生み出し、市民の暮らしを支えるとともに、地域に賑わいを創出します。さらに、観光振興によって得られる経済効果は、より魅力的で住みやすいまちへ、まちづくりを行うための重要な財源の一部となり、地域経済の循環を促進します。湘南の海と自然、歴史文化に囲まれた江の島は、藤沢市のみならず神奈川県を代表する観光地であり、藤沢市を訪れる観光客が鎌倉や箱根など神奈川県各地を周遊することにより、藤沢市だけでなく県内全体の経済循環を高めることにも貢献します。

このような背景を踏まえ、藤沢市では、本計画を平成23年3月に策定し、平成23年度から令和4年度までの12年間を計画期間として3年度ごとに見直しを行うこととし、様々な観光施策に取り組んできました。

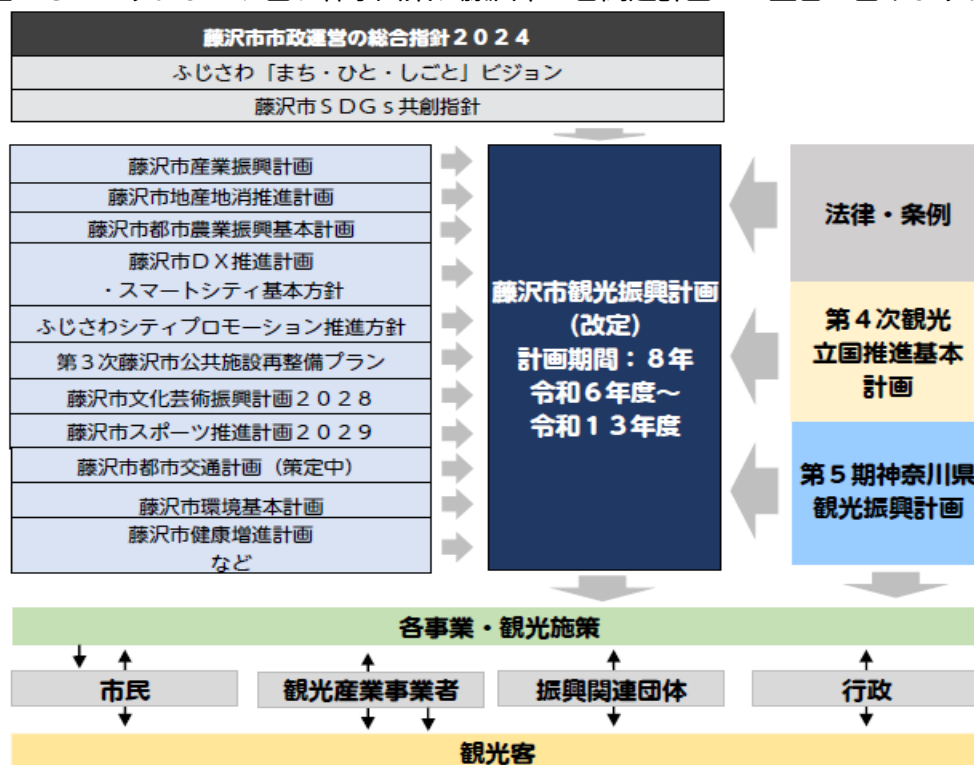
様々な社会情勢の中、「藤沢市市政運営の総合指針2024」の理念や施策の方向性との整合を図り、行政をはじめ観光産業事業者や振興関連団体と地域が一体となって持続可能な観光を意識した施策を展開し、社会経済情勢や新たな観光需要の顕在化など、様々な変化に的確に対応するべく、本計画の改定を行いました。

## 計画の期間

本計画の期間は、「藤沢市市政運営の総合指針2024」と整合を図り、令和6年度から令和13年度までの8年間とし、計画期間の中間年に計画の見直しを行うものとします。

## 計画の位置付け

本計画は「藤沢市市政運営の総合指針2024」の理念や施策の方向性との整合を図り、取り組むものです。また、国、神奈川県、藤沢市の各関連計画との整合を図ります。



## 藤沢市の観光の現状と課題

### 藤沢の観光魅力づくり

現状：江の島サムエル・コッキング苑の入苑者数が過去最高の100万人を突破。また、相乗効果で、江の島岩屋の入洞者数も増加。

課題：時期だけではなく時間によって混雑が集中している状況であるため、動態分析やデジタル技術を活用し、閑散とする時間帯や平日需要の底上げにより観光客の一極集中を避ける必要がある。

### 藤沢発・魅力あふれる情報発信

現状：『湘南江の島Walker』による宣伝や観光親善大使による情報発信、電子版配信による発信力の強化を行った。

課題：(公社)藤沢市観光協会等を中心とした多を引き続き推進する必要がある。人流関連ビッグデータを用いた戦略的マーケティングの実施する必要がある。

### 地域の特性を活かした観光客の誘致

現状：「江の島フィッシャーマンズマルシェ」では片瀬漁港において定置網で水揚げされる新鮮な魚や藤沢産の野菜などの魅力を味わって頂き、未利用魚を減らす活動を中心に開催。

課題：SDGsの取組など、持続可能な観光を推進するため、環境に配慮し、地域特性を生かした藤沢ならではの独創性のある誘客を図る。  
また、地域住民の意向や観光振興への理解を的確に把握し、南部エリアのみならず北部エリアの地域産品振興や地産多消費等の促進、地域活性化に注力する必要がある。

### 観光客を迎えるおもてなしの体制づくり

現状：多摩大学と市、市観光協会の3者連携事業として、外国人観光客が食と土産を楽しむウェブサイト「FUJISAWA Foodies」の整備や外国人アンケートを実施し、受け入れ環境の整備につなげた。

課題：観光客が訪れるエリアでのWi-Fi環境やキャッシュレス対応等の観光客が快適に過ごせるハード・ソフト両面での受け入れ体制を整える必要がある。交通事業者と連携したMaasの推進や交通渋滞の混雑の緩和に継続して取り組む必要がある。

### 外国人観光客誘致

現状：東京2020大会の開催を好機にWEB等の多言語化を実施した。

課題：近年ではインバウンドの回復傾向がみられているため、ビッグデータ等を活用しながら今後の外国人観光客の誘致戦略を検討する必要がある。

### ふじさわシティプロモーションの活用

現状：令和4年5月19日にスルガ銀行株式会社と「ふじさわサイクルパートナーシップ協定」を締結したことを受け、両者で連携し、自転車を利用したシティプロモーションを共同で実施した。

課題：広報シティプロモーション課と連携して、ふじさわシティプロモーションを活用した観光振興の促進を継続して実施する必要がある。



## 共創し選ばれ続ける観光都市

### ・本計画における重点的視点

#### (1) 持続可能な観光の推進

市民・観光客・観光産業事業者・振興関連団体・行政の関係者が一体となり、SDGsの視点を取り入れた取組を着実に推進します。

#### (2) 満足度の高い観光の追求

満足度を高めることを重視する観光振興を行い、滞在時間の延長と通年型観光都市としての発展を図ります。

#### (3) デジタル技術やデータ活用による観光DXの推進

デジタル技術の活用による生産性向上や誘客のあり方に変革をもたらすデジタル・トランスフォーメーション（DX）に積極的に取り組みます。

#### (4) 多様性を受け入れる観光の推進

多様な生き方を認め合うまちであることを大切にして、様々な文化が共生する、多彩な魅力とみんなの活力があふれる藤沢を築きます。

#### (5) 強靱性の向上

自然災害やパンデミックなど、大きな社会環境の変化に柔軟に対応できるしなやかで回復力の高い観光産業及び観光地経営の実現をめざします。

#### (6) 共に創る観光都市の実現

市民・観光客・観光産業事業者・振興関連団体・行政が一体となって、観光振興に取り組み、持続可能な観光につながる新たな価値を生み出します。

#### (7) 独創性の追求

来訪動機につながる唯一無二の魅力を持つ観光資源の発掘・磨き上げを産学官の連携により行います。

## 実現に関する目標値

指標	基準値	現状	目標値		
	令和元年	令和4年	令和7年	令和10年	令和13年
<b>重要目標達成指標 (KGI: Key Goal Indicator)</b>					
年間観光消費額	935 億円	779 億円	989 億円	1,169 億円	1,358 億円
<b>重要業績評価指標 (KPI: Key Performance Indicator)</b>					
年間観光客数	1,930 万人	1,700.2 万人	2,043.4 万人	2,287.4 万人	2,511.7 万人
日帰り観光客数	1,871.9 万人	1,650.8 万人	1,984 万人	2,221 万人	2,438.7 万人
宿泊者数	58.1 万人	49.4 万人	59.4 万人	66.4 万人	73 万人
一人当たりの平均観光消費単価					
宿泊	15,391 円	14,250 円	15,269 円	16,204 円	17,196 円
日帰り	4,518 円	4,295 円	4,601 円	4,883 円	5,182 円
観光客満足度※1	未取得	68.4%	71.8%	75.4%	79.2%
市民の観光振興に対する理解度※2	未取得	未取得	56.5%	60.7%	65.3%

※1 江の島岩屋の総合的な印象において、「非常に満足」と回答した比率を示します。

※2 市民アンケート調査において「藤沢市へ観光客が来訪することについてどう思いますか」の設問に対して「ぜひ来てほしい」及び「来てほしい」と回答した比率を示します。なお、目標値は、令和5年度に実施した市民アンケートの結果を踏まえて設定しています。

# 将来像・なるべき姿の実現に向けた施策体系

## 大柱①（基本方針） 選ばれ続ける持続可能な観光魅力づくり

### 1. 高付加価値で長い滞在を促す観光コンテンツの創出・磨き上げ

- 来訪動機につながる魅力を持つ誘客事業の推進
- 滞在時間延長と通年型観光地として発展を図る誘客事業の推進

### 2. 多様な主体による観光資源を活用した新たな観光魅力づくり

- 産学官連携した観光の推進
- スポーツ、文化芸術、歴史、自然を活用した事業の推進
- マルチパートナーシップを活用した事業の推進
- ニューツーリズムの推進

湘南の宝石



### 3. 広域での観光魅力づくり

- 市内全域での観光資源の活用、周遊の促進
- 広域連携事業の促進

## 大柱②（基本方針） 魅力あふれる情報発信と戦略的な誘致活動

### 1. 地域ブランディング向上による誘客促進

- 湘南藤沢フィルム・コミッション事業の推進
- 湘南藤沢活性化コンソーシアムの取組の推進
- 国際認証制度を活用した地域ブランディング向上の推進

観光情報冊子



### 2. 多様な主体と連携したプロモーションの推進

- 各種メディアを用いた地域事業者、近隣自治体、関係者等との連携によるプロモーションの推進
- 観光客や市民による SNS での情報発信の推奨

### 3. 観光データを活用した戦略的なマーケティングの実施

- ビッグデータの収集、分析、活用、効果検証の推進

## 大柱③（基本方針）ホスピタリティの深化と居心地の良い観光空間の創出

### 1. 国内外の観光客が快適に過ごせる環境の整備

- 快適な観光施設の維持管理
- 適切な観光案内サインと観光案内所の充実
- 観光客のニーズに合ったサービスの提供
- 外国人観光客の受入体制整備
- バリアフリー観光の促進
- キャッシュレス化の促進

### 2. 観光人材の育成と地域ホスピタリティの向上

- 観光振興に寄与する人材の育成推進
- おもてなしの心による地域ホスピタリティの向上促進

### 3. 観光地の安全・安心の確保

- 観光施設利用者や地域住民を含めた観光施設周辺地域の一体的な安全環境整備

江の島サムエル・コッキング苑



## 大柱④（基本方針）観光振興と市民生活の豊かさ向上の両立

### 1. 市民生活と観光の調和の推進

- 市民による市内観光の促進

### 2. 市民・観光産業事業者の理解醸成

- 観光振興に係る経済効果や利便性向上など、メリットのある情報発信による市民及び観光事業者の理解促進
- 市民の観光ボランティアへの参画の促進や活用

### 3. 観光課題対策の強化

- 地域経済活性化を図りながら、地域が抱える課題解決をし、且つSDGsに定められた17のゴールに複数つながる取組を推進

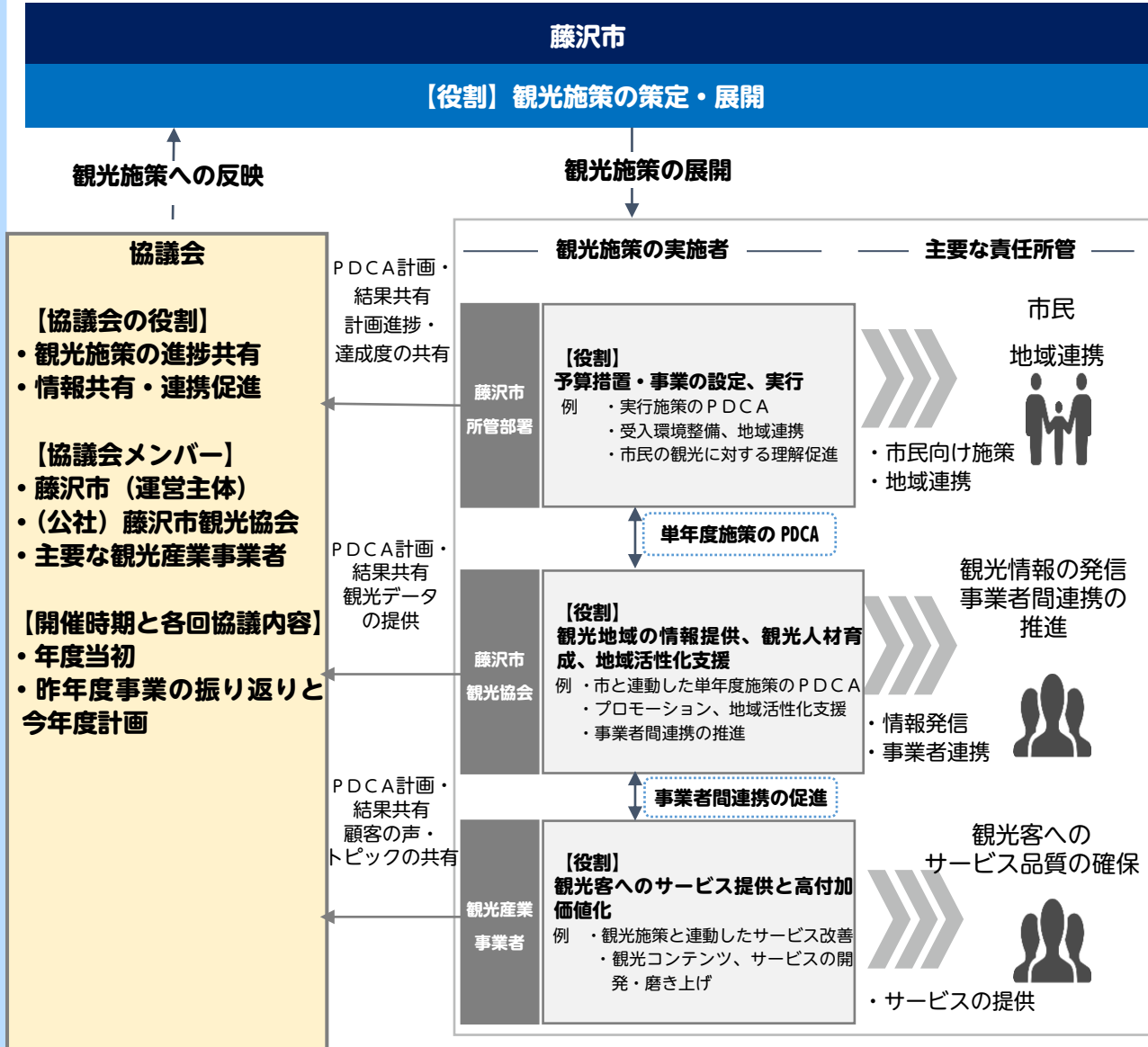
市内海水浴場



# 計画の推進体制

計画の推進に当たっては、市民・観光客・観光産業事業者・振興関連団体等との連携と協働により、観光振興を図ります。

## 推進体制のイメージ



藤沢市観光振興計画 概要版

令和6年4月

藤沢市 経済部 観光課

〒251-8601 神奈川県藤沢市朝日町1番地の1

TEL (直通) 0466-50-3531